

中国南部貴州省の少数民族の人たちとその生活 - 2019年の招待撮影行

長岡 正利

中国の貴州省は、雲南省から東方の湖北省に向かって低くなる、^{うんき}標高1000m前後の、雲貴高原と呼ばれる起伏に富んだ山地になっています。

貴州省の広域には古生代の石灰岩が分布して、中国有数のカルスト地帯(中国南方カルスト)となっており、一部は世界遺産に登録されています。大きな平地がないことから、「地に三里の平地無し」と言われ、全域が亜熱帯高原であるため、極端な暑さ寒さはないものの、降水量は多く、晴天の日が少ないことから、「天に三日の晴れ無し」。僻遠のこの地は、昔は貧しかったがゆえに、「人に三銭の金無し」。



(中国「貴州省」の位置)

すばらしい自然に恵まれ、今は、近代化進展の中での心暖かな人達の地です。



貴州省の省都・貴陽市には、明の萬曆帝の時代に、「科挙」合格者が出ることを祈念した高秀楼が現存。

市街地から離れた農山村にも、突然に高層ビル群が出現。

山間部が多く、農耕地の殆どは見事に作られた棚田。

(日本でも、むかし、よく見た風景。)

少数民族「苗(ミャオ)族」の一聚落。下写真の「黔东南苗族侗族自治州

雷山県 郎徳苗寨」で。

貴州省の人口は約3856万人で、漢族が64%(約2637万人)。少数民族で多いのは苗族463万人で、以下、布依族308万人、侗族193万人と続きます。省面積の1/2以上が少数民族の自治区域となっています。〔以上の統計データの出典は、2022年・中文版「維基百科」など。〕

秘境の名の高い貴州ですが、省都・貴陽は昆明などからの全国高速鉄道網に組み込まれ、全国土に広がる五縦七横の国家級高速道路のほか、省級の高速度もあって、小規模聚落にも舗装道路が通じています。

ここでは、省都・貴陽市や古都鎮遠などに加えて、6つ少数民族地の人たちと、その生活を紹介します。なお、民族が同じでも、その聚落(寨;村)が違えば、人々の装いなどは違うのが普通です。下は、苗族の「郎徳」村にての。



村の入り口で、歓迎の蘆笙演奏。(貴州省の「郎徳苗寨」で。)



広場の中央での蘆笙。重低音の大管から、旋律演奏の小型まで。



蘆笙を囲み、総出での旋廻。

昔が想われる懐かしいメロディの。



村へ入る前のお酒でのお出迎え

【参考資料】「貴州省日本観光センター」ホームページ(邦文版)；綺麗な写真もご覧になれます。

中文版Wikipedia(維基百科)の「貴州省」と、Web「人民網」中文版トップから→「地方」→「黔^{てん}」→「貴州省」